

氏名	髙末 憲子	部署	社会福祉子ども学科	職名	教授
研究分野	ソーシャルケア・専門職連携・EBPM				
学位	修士（社会福祉学）				
学歴	1988年3月熊本大学教育学部特別教科（看護）教員養成課程 卒業、2000年3月日本社会事業大学大学院社会福祉学研究科 博士前期課程修了、2022年3月国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科博士課程満了				
経歴	2000年埼玉県立大学保健医療福祉学部助手 2003年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師 2012年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授 2025年埼玉県立大学保健医療福祉学部教授				
所属学会（役職）	日本介護福祉学会、日本保健医療福祉連携教育学会（査読委員）、日本社会福祉学会、日本社会福祉教育学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会				

【2024年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作(著書及びその他の著作物)						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	〔三訂〕介護職員初任者研修テキスト第2巻 分担執筆箇所：5介護におけるコミュニケーション技術、第1節介護におけるコミュニケーションの技法、1生活場面におけるコミュニケーション、p.12~24	共著	なし	長寿社会開発センター、410	髙末憲子他多数／介護職員関係養成研修テキスト作成委員会編	2024.6
2	〔三訂〕介護職員初任者研修テキスト第3巻 分担執筆箇所：9こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅰ 第1節介護の基本的な考え方 1理論と法的根拠に基づく介護、p.14~20	共著	なし	長寿社会開発センター、432	髙末憲子他多数／介護職員関係養成研修テキスト作成委員会編	2024.6
3	〔三訂〕介護福祉士養成実務者研修テキスト第3巻 分担執筆箇所：第1章利用者・家族とのコミュニケーション（第1節利用者とのコミュニケーション1コミュニケーションの意義と構造、2コミュニケーションにおける自己理解と他者理解p.7~22、第2節家族とのコミュニケーションp.29~39）第2章利用者の機能に応じたコミュニケーション（第2節利用者の状態に応じたコミュニケーション3言語障害のある利用者とのコミュニケーションp.90~100）	共著	なし	長寿社会開発センター、160	髙末憲子他多数／介護職員関係養成研修テキスト作成委員会編	2024.6
4	M-GTA修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ多分野多領域における実践と応用 分担執筆箇所：第3章M-GTAによる研究成果の応用例(小嶋章吾・髙末憲子)p.39-55、第15章介護福祉学×ホームヘルパー(髙末憲子・小嶋章吾)	共著	あり	誠信書房、226	浅野正嗣、木村由美、小池純子、古城恵子、佐瀬恵理子、髙末憲子、野中光代、平川敏功、藤江慎二、藤原佑貴、山口みほ、和田真一／小嶋章吾編著	2025.1

(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、 開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	監修 DX時代の重層的支援体制整備事業に PDCAサイクルを促進するF-SOAIP～EBPMをめざして(4) 児童相談所及び児童心理治療施設・保育所における好事例報告～実践と研究の横展開～ 執筆 虐待対応のAI化に向けF-SOAIPをシステム要件へ～多機関多職種の実践変容を期待して～	共著	なし		自治実務セミナー、742、2024年4月号、40-46(執筆45-46)	嵐末憲子・小嶋章吾	2024.4
2	執筆 多分野多領域にわたる新たな経過記録の有用性、医療DX推進に向けたF-SOAIP実装の推奨 第1回～データインフラとしての協創・イノベーションの可能性～	共著	なし		月刊新医療、51(4)、2024年4月号、94-98	嵐末憲子・小嶋章吾	2024.4
3	監修 F-SOAIPでケアの実践変容を第5回 執筆 介護現場の多職種実践に資するF-SOAIPによる記録システムの標準化を～複数ベンダーやAIサービスによる協創型イノベーション～	共著	なし		月刊ケアマネジメント、35(5)、2024年5月号、33-37(執筆分：37)	嵐末憲子・小嶋章吾	2024.4
4	監修 多分野多領域にわたる新たな経過記録の有用性、医療DX推進に向けたF-SOAIP実装の推奨 第3回～導入医療施設・介護保険施設からの具体的有用性の紹介～ 執筆 F-SOAIPによる電子カルテデータの構造化でDX・AI化推進を～医療・介護実践の好事例を横展開して協創的イノベーション～	共著	なし		月刊新医療、51(6)、2024年5月号、94-97(執筆分：97)	嵐末憲子・小嶋章吾	2024.5
5	監修 F-SOAIPでケアの実践変容を第6回 執筆 F-SOAIPにより諸政策課題の解決を～政治家・行政のイニシアチブを期待～	共著	なし		月刊ケアマネジメント、35(6)、2024年6月号、33-36(執筆分：36)	嵐末憲子・小嶋章吾	2024.5
6	監修 多分野多領域にわたる新たな経過記録の有用性、医療DX推進に向けたF-SOAIP実装の推奨 第2回～導入医療施設からの具体的有用性の紹介～ 執筆 DX・AI化を促すF-SOAIPによる電子カルテデータの構造化でイノベーションを～看護部によるミクロ・メゾ・マクロ展開の好事例をもとに～	共著	なし		月刊新医療、51(5)、2024年6月号、94-97(執筆分：97)	嵐末憲子・小嶋章吾	2024.6

7	監修 DX時代の重層的支援体制整備事業に PDCAサイクルを促進するF-SOAIP～EBPMをめざして(5) F-SOAIP搭載の記録システム活用等による保健師の好事例報告 執筆 行政DXのためにF-SOAIPをデータインフラに～	共著	なし		自治実務セミナー、744、2024年6月号、26-31(執筆分：30-31)	嵯末憲子・小嶋章吾	2024.6
8	監修 F-SOAIPでケアの実践変容を第7回 執筆 ホームヘルパーによるF-SOAIPの継続がイノベーションに～訪問介護実践の可視化でケアの諸課題解決を目指して～	共著	なし		月刊ケアマネジメント、35(7)、2024年7月号、33-37(執筆分：37)	嵯末憲子・小嶋章吾	2024.6
9	監修 F-SOAIPでケアの実践変容を第8回 執筆 ケアマネジメントのマイクロレベルでのF-SOAIPデータをメゾ・マクロレベルで活用を～実践・研究の発信成果をEBPMの一助に～	共著	なし		月刊ケアマネジメント、35(8)、2024年8月号、33-37(執筆分：37)	嵯末憲子・小嶋章吾	2024.7
10	監修 F-SOAIPでケアの実践変容を第9回 執筆 介護支援専門員による主体的なF-SOAIP研修や研究活動による政策提言	共著	なし		月刊ケアマネジメント、35(9)、2024年9月号、33-37(執筆分：37)	嵯末憲子・小嶋章吾	2024.8
11	監修 F-SOAIPでケアの実践変容を第10回 執筆 F-SOAIPによる経過記録標準化に向けたマクロレベルのアクション～東京都介護支援専門員研究協議会(CMAT)からの発信と大田区議会の動向～	共著	なし		月刊ケアマネジメント、35(10)、2024年10月号、33-37(執筆分：37)	嵯末憲子・小嶋章吾	2024.9
12	執筆 保健医療福祉のDXを推進するF-SOAIP(エフソ・アイビー)の理論と実践 第1回 PDCAサイクルを促進するF-SOAIPで課題解決の好循環～F-SOAIPをデータインフラとして標準化し協創を～	共著	なし		Visionと戦略、21(10)、2024年10月号、36-37頁、	嵯末憲子・小嶋章吾	2024.9
13	監修 F-SOAIPでケアの実践変容を第11回 執筆 多機関の介護支援専門員がF-SOAIPをBCPに位置づけることは急務	共著	なし		月刊ケアマネジメント、35(11)、2024年11月号、33-37(執筆分：37)	嵯末憲子・小嶋章吾	2024.10
14	執筆 保健医療福祉のDXを推進するF-SOAIP(エフソ・アイビー)の理論と実践 第2回 F-SOAIPをデータインフラとしてEBPMを推進～生成AI活用による協創型イノベーションリサーチへの期待～	共著	なし		Visionと戦略、21(11)、2024年11月号、36-37	嵯末憲子・小嶋章吾	2024.10
15	監修 支援の質が劇的に変わる！注目の記録法 F-SOAIP実践のポイント	共著	なし		ケアマネジャー、2024年11月号	嵯末憲子・小嶋章吾	2024.10

16	監修 F-SOAIPでケアの実践変容を第12回 執筆 F-SOAIP導入自治体のDX～介護支援専門員の諸課題解決～	共著	なし		月刊ケアマネジメント、35(12)、2024年12月号、36-40（執筆分：40）	嵐末憲子・小嶋章吾	2024.11
17	監修 保健医療福祉のDXを推進するF-SOAIP(エフソ・アイビー)の理論と実践 第3回 執筆 F-SOAIPによる外国人介護士への多面的効果と「厚生労働省国際保健ビジョン」への貢献	共著	なし		Visionと戦略、21(12)、2024年12月号、38-39（執筆分：39）	嵐末憲子・小嶋章吾	2024.11
18	監修 F-SOAIPによる協創で課題解決を第1回 執筆 地域包括支援体制のモデル自治体によるF-SOAIP導入成果の発信～協創型イノベーションで重層的支援体制整備事業への横展開に期待～	共著	なし		月刊ケアマネジメント、36(1)、2025年1月号、33-37（執筆分：37）	嵐末憲子・小嶋章吾	2024.12
19	監修 保健医療福祉のDXを推進するF-SOAIP(エフソ・アイビー)の理論と実践 第4回 執筆 F-SOAIPによる外国人介護士への多面的効果と「厚生労働省国際保健ビジョン」への貢献	共著	なし		Visionと戦略、22(1)、2025年1月号、38-39（執筆分：39）	嵐末憲子・小嶋章吾	2024.12
20	監修 F-SOAIPによる協創で課題解決を第2回 執筆 重層的支援体制整備事業の先駆的自治体 豊田市及び社会福祉協議会地域包括支援センターによるF-SOAIP展開のモデル性 ～相談記録プラットフォームへの実装提案～	共著	なし		月刊ケアマネジメント、36(2)、2025年2月号、33-37（執筆分：37）	嵐末憲子・小嶋章吾	2025.1
21	監修 保健医療福祉のDXを推進するF-SOAIP(エフソ・アイビー)の理論と実践 第5回 執筆 F-SOAIPで障害福祉領域の横断的な諸課題解決を	共著	なし		Visionと戦略、22(2)、2025年2月号、34-35（執筆分：35）	嵐末憲子・小嶋章吾	2025.1
22	監修 新提案！ 看護記録方法式の新しい方法 F-SOAIP SOAPとフォーカスチャージングの統合 執筆 F-SOAIP総論－どんな記録方法で、何が新しいのか	共著	なし		エキスパートナース、41(2)、2025年2月号、116-129(執筆分：117-121)	嵐末憲子・小嶋章吾	2025.1
23	監修 F-SOAIPによる協創で課題解決を第3回 執筆 F-SOAIP活用・定着は誰もが気付いた時から始まる	共著	なし		月刊ケアマネジメント、36(3)、2025年3月号、33-37（執筆分：37）	嵐末憲子・小嶋章吾	2025.2
24	監修 F-SOAIPによる協創で課題解決を第4回 執筆 F-SOAIP最新トピックス	共著	なし		月刊ケアマネジメント、36(4)、2025年4月号、33-37（執筆分：37）	嵐末憲子・小嶋章吾	2025.3

25	監修 保健医療福祉のDXを推進するF-SOAIP(エフソ・アイビー)の理論と実践 第6回 執筆 F-SOAIP導入先進例の協創でイノベーション～電子カルテ搭載を国に要請～	共著	なし		Visionと戦略、 22(3)、2025年3月号、34-35（執筆分：35）	嵯末憲子・小嶋章吾	2025.3
26	執筆 DX時代の全世代型教育実践を可視化～PDCAさにF-SOAIPでイノベーション～	共著	なし		月刊先端教育、65、 2025年3月号、88-89	嵯末憲子・小嶋章吾	2025.3
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし						
(4) その他							
	名称	単・共		発表場所等		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし						
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称			研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))			ICT・IPWに資する生活支援記録法によるミクロ～マクロの革新的好循環モデル構築		研究代表者	2024.4～2025.3
3. 教育業績							
(1) 講義							
	講義の名称	科目責任者		コマ数		概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	ケアサービス論（ケアと環境Ⅰ）	○		15		執筆したテキストを用い、ソーシャルケアにおける利用者中心の連携、生活アセスメント等、双方向の講義となるよう工夫した。また、実践面や研究成果をふまえ講義に還元した。	
2	福祉社会特講Ⅳ（国際社会福祉論）			1		前回までの講義内容をふまえ、第13回目「外国人介護人材受入れおよび日本式介護の海外発信」を担当した。	
3	IPW論（大学院：前期課程）			4		初回や発表会、最終の振り返りの他、「地域共生社会時代にIPWの実践過程を可視化する生活支援記録法（F-SOAIP）～実践や研究でのデータ利活用による変革を期待して～」を担当した。	
4	実践評価－実践と地域のイノベーション（大学院：前期課程）	○		8		リハビリテーション学専修の院生を対象に、実践評価のリフレクションデータからメゾ・マクロまでを検討できるF-SOAIPの活用を教授した。院生はこれらをもとに職場にてアンケートを実施した。	
5	地域開発－実践と地域のイノベーション（大学院：前期課程）	○		8		リハビリテーション学専修の院生を対象に、地域開発の根拠データとして検討できるF-SOAIPの活用を教授した。なお、院生のテーマと照らし教育・研究に応用できるように対応した。	
6	長寿保健福祉システム論①（大学院：後期課程）			8		科目責任者の補助として、リハビリテーション学領域の院生を対象にテーマを多面的視点で掘げ、AMED等の研究成果や社会実装が進F-SOAIPを教育・研究に活用できるよう教授した。	
7	長寿保健福祉システム論②（大学院：後期課程）			3		科目責任者の補助として、リハビリテーション学領域の院生を対象に、AMED等の研究成果を例としてイノベーションを展望した教育・研究に寄与できるよう教授した。	
(2) 演習							
	演習の名称	科目責任者		コマ数		概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	ケアサービス演習（ケアと環境Ⅱ）	○		15		実習Ⅰや進路支援にも有用となるよう工夫し、回想法によるプロセスレコード、重層的支援体制整備事業による地域展開等のグループワークを展開した。	

2	IPW演習(2開講)☒		15	科目責任者と協力して、IPW論での学びをふまえ、IPW実習に活かせるよう工夫した。次々年度までの科目責任者と情報共有しながら運営にあたり新たな教材開発を図った。
3	ソーシャルワーク演習Ⅰ		15	科目責任者と協力し、対面とオンラインでの授業を交互に実施し、学生の学びが今後の演習・実習・実践に活かせるよう、リフレクションに留意した。
4	ソーシャルワーク演習Ⅱ		15	3回ずつ4グループを担当した。現任者に求められながら養成課程ではテキスト類も十分でない経過記録としてF-SOAIPを教授し、授業資料の一部を公開した。
5	社会福祉専門演習Ⅰ		15	卒業研究を進める過程において、ソーシャルワーク演習や社会調査の学びを活用しながら、学生（6名）と他1名を指導した。
6	社会福祉専門演習Ⅱ		15	卒業研究の論文執筆・プレゼンを通じ、ソーシャルワーク演習や卒業後に役立てられるよう、学生（6名）を指導した。
7	社会福祉専門演習Ⅲ		15	卒業研究を進める過程において、ソーシャルワーク演習や社会調査の学びを活用しながら、学生（4名）を指導した。
8	社会福祉専門演習Ⅳ		15	卒業研究の論文執筆・プレゼンを通じ、ソーシャルワーク演習や卒業後に役立てられるよう、学生（4名）を指導した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	○	15	サブの科目責任者や実習Ⅰの科目責任者および新カリ科目責任者会と協力して事前指導を進め、実習へのモチベーションを高められるよう実習課題やレポートの指導を行った。
2	ソーシャルワーク実習Ⅰ		2025.2～2025.3	科目責任者らと共に新カリにて変更したプログラムや評価を実現できるよう実習巡回や帰校日指導に尽力した。実習指導者と連携を密にし、実習Ⅱのプログラム等も検討した。
3	IPW実習①		2024.8	4大学の学生を対象とし、実習指導者と連携しながら、利用者や家族や専門職とのインタビューを通じ、高い目標を達成できるよう務めた。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2024.4～2025.3	主指導 4名	副指導 0名
2	博士論文	2024.4～2025.3	主指導（指導教員） 0名	副指導（指導補助教員） 1名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	国際医療福祉大学大学院 共通科目「医療福祉面接記録法」ゲスト講師	2024.7 1コマ	国際医療福祉大学大学院「F-SOAIPの領域別展開」の内、介護領域と全体総括を担当した。	
2	「専門職連携を学ぶ講座」 IPWを促進するF-SOAIP研修	2024.6～2024.9 全3日間、12コマ	F-SOAIPの実践・教育・研究等の講師や執筆を目指したリーダー研修として位置づけた。学外講師として共同開発者に、実践報告を乃木坂スクール修了者に依頼した。	
3	国際医療福祉大学大学院 共通科目「質的研究法各論」ゲスト講師	2024.9-2024.12 4コマ	質的研究法としてのF-SOAIPについて、修士論文や博士論文にF-SOAIPをデータ収集や分析に活用できるよう、オムニバスとして4回分の授業を担当した。うち2回分は、F-SOAIPを質的研究法として実施した。	

4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	介護支援専門員法定研修	愛知県居宅介護支援事業者連絡協議会	「生活支援記録法（F-SOAIP）」の理解と活用方法として、2回にわたり開催した。	2024.8/9
2	相談支援事業実務担当者会議研修会 「記録に関する研修」	さいたま市 社会福祉事業団	F-SOAIPの概要と方法を学び支援に活かせるよう「F-SOAIP生活支援記録法」として、2回にわたり開催した。	2024.9/10
3	令和6年度 神奈川県 地域包括支援ケア推進事業専門職等派遣研修	大和市人生 100年推進課	「F-SOAIP(エフ・ソアイプ：生活支援記録法)について学ぶ」として、2回にわたり開催した。	2024.10/12
4	令和6年度沖縄県家庭相談員連絡協議会 定例 研修会	うるま市 こども未来部 子育て包括支援課	「根拠ある実践」を記録する方法として、2回にわたり開催した。	2025.2/3
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称	任期
1	一般社団法人 F-SOAIP実践・教育研究所		共同代表理事	2023.8～現在
2	一般社団法人 日本ソーシャルケア研究所		共同代表理事	2023.8～現在
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称			年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	地域貢献活動	多可町やうるま市の他、F-SOAIPの搭載システムを予定・活用する自治体担当者	(株)TKC TASKクラウド福祉相談支援システム導入後の活用や、当初からF-SOAIPの実装を前提としてシステム発注を検討する自治体に対しコンサルティングを行う。	2024.4～2025.3
2	その他： 成果の発信等	品川区、練馬区、大田区、茅野市、大和市、愛知県等、F-SOAIPの研修や活用を展望する団体、行政や政治家、教育・研究者等	F-SOAIPを地域や行政にて導入・活用・定着を図るにあたり、ICT以外の情報提供、研修や実践報告等の発信を支援する。	2024.4～2025.3
3	国際協力事業	北京優実福祉科技有限公司	主にAMEDや文科省科研費の成果として、高齢領域のICT搭載の実装等の評価を通じ、中国の介護・福祉系の施設や教育機関にてF-SOAIPが活用されているため、動画教材作成に協力した。また、我国で刊行した書籍や多領域での連載について、国際発信すべくとりまとめている。	2024.4～2025.3
4	産業支援	(株)ウェルモ	(株)TKC TASKクラウド福祉相談支援システムを導入した多可町が、兵庫県の「ひょうごTECHイノベーションプロジェクト」に採択されたため、F-SOAIPによる生AI活用に協力した。	2024.4～2025.3
5	産業支援	守秘義務のため公表不可 医療・福祉のシステムベンダー等、各領域にて数社	科研費を通じたF-SOAIPの実践報告者を中心に、F-SOAIPが病院や福祉・介護のシステムに実装され、データ利活用できるようサポートしている。	2024.4～2025.3

5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	IPEセンター員として、専門職連携・協働講座運営担当した。	2024.4～2025.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	ヒューマンケア実習室の管理を担当した。	2024.4～2025.3
3	全学的委員会及びセンター業務等	「IPW演習」の次年度の科目責任者を中心に計4名にて準備を進め、2025年度以降は一開講できるよう調整した。	2024.4～2025.3
4	全学的委員会及びセンター業務等	IPEセンター員として、四大学連携事業に出席の他、日本保健医療福祉連携教育学会の開催に実行委員、コンソーシアムのリーダーとして尽力した。	2024.4～2025.3
5	全学的委員会及びセンター業務等	後援会担当として、入学式や大学祭や25周年事業に出席し、保護者や卒業生と交流した。	2024.4～2025.3
6	全学的委員会及びセンター業務等	入試実施部会員として、オープンキャンパスや大学案内作成、学内の見学の調整を図った。	2024.4～2025.3
7	学科等における委員会等	社福新カリキュラム科目責任担当者に参画し、新カリキュラムにおいて実習科目がスムーズに展開できるよう従事した。	2024.4～2025.3
8	学生支援	社会社専門演習ⅠⅡ担当学生および実習担当学生への面談などを実施し、2年次生と3年次生を対象とした進路支援のイベントをサポートした。	2024.4～2025.3
9	大学広報活動	「IPWを促進するF-SOAIP研修」修了者が各専門誌にて実践報告をするにあたり、研修修了者であることや研修での学びや活用など、その成果を発信する機会としている。	2024.4～2025.3
10	大学広報活動	高校生や教員を対象に、学内の見学案内や学科専攻の説明を4回担当した。	2024.4～2025.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		